

暮らしに役立つ情報満載！

住まいのニュース

2024
11
vol.168

今月の特集

総二階建ての家の魅力とその特徴とは？

総二階建ての新築住宅は、シンプルな構造で建築コストを抑えつつ、広々とした空間を実現する人気の選択肢です。そこで今回は、耐震性に優れるなど多くの魅力を持つ総二階建ての家の特徴を詳しく見ていきましょう。

長く快適に暮らせる 総二階建ての家

総二階建ての新築住宅は、1階と2階の床面積がほぼ同じ広さを持つ住宅形態です。この構造は、限られた敷地を最大限に活用し、広々とした居住空間を確保できる点が大きな魅力となっています。

人気の理由として、そのシンプルな構造が挙げられます。複雑な形状の家に比べて建築コストを抑えられることが、総二階建ての大きなメリットです。凹凸の少ない単純な箱型の構造は、材料の無駄が少なく、施工も効率的に行えるため、建築費の削減につながります。また、このシンプルな構造は将来的な拡張性も高めます。

例えば、子供の成長に合わせて部屋を分割したり、親世帯との同居のために増築したりするなど、家族構成の変化に柔軟に対応できます。構造的には、バランスの取れた形状により高い耐震性を持ち、地震に強い住宅として評価されています。

十分な収納スペースを確保できるため、家中をすっきりと整理整頓しやすいのも特徴です。さらに、将来的なリフォームや設備の更新も、複雑な構造の家に比べて行いやすい利点があります。

これらの特性により、総二階建ては長期にわたって快適に暮らせる住宅形態として、多くの人々に選ばれています。

快適性と経済性を考慮した 『FPの家』の総二階建て

総二階建ての住宅設計では、2階まで空調の効きを均一に保つための工夫が重要です。この点で、『FPの家』の高断熱・高気密設計が大きな利点を発揮します。外部からの熱の侵入を最小限に抑え、内部の温度を安定させることで、1階と2階の温度差をなくし、家全体で快適な環境を維持。

さらに、計画的な換気システムを導入することで、結露を防ぎ、カビやダニの発生を抑制します。これにより、居住者の健康を守りつつ、建

物の耐久性も向上させます。こうした高断熱・高気密設計は、夏の暑さや冬の寒さを和らげるだけでなく、年間を通じて光熱費の大幅な削減にもつながります。

総二階建ての経済性は、複雑な構造の家と比較するとさらに際立ちます。建築コストが抑えられるだけでなく、メンテナンスの面でも、シンプルな構造であるため、複雑な形状の家に比べて維持管理が容易で、コストを抑えられます。

『FPの家』は建物の特性を最大限に活かし、さらに高い快適性と自由度を実現します。お客様のニーズに合わせてカスタマイズ可能な注文住宅として、理想の住まいづくりをサポート。家族のライフスタイルに合わせた間取りや、将来の変化にも柔軟に対応できる設計で、長く愛される我が家を実現します。



住まいの知恵袋

屋根材



家の顔とも言える屋根。その材料選びは重要です。一般的な瓦屋根は耐久性に優れ、風格ある外観を演出しますが、重量が課題。いっぽう、軽量で施工性の高いスレートはコスト面では優位ですが、耐久性では瓦に劣ると

言われています。金属屋根は軽量で耐久性が高いものの、雨音が気になるという点も。また、デザイン性と機能性を両立した化粧スレートはコストがやや高いなど、材質によってさまざまなメリットとデメリットがあるようです。屋根材を選ぶ際は気候条件や建物の構造、コストを考慮しつつ、メンテナンス性や耐用年数などにも気をつけましょう。屋根の勾配や家の構造強度との相性も大切です。屋根材は、長期的な視点で選ぶことが、快適な住まいづくりの鍵となります。

できた！簡単DIY

落ち葉リース



秋の訪れを感じさせる落ち葉リース。作り方は意外と簡単です。まずは散歩がてら、色とりどりの落ち葉や木の実を集めましょう。次に、ワイヤーで直径20~30cmほどの輪を作り、それに麻ひもを巻き付けます。集めた落ち葉や木の実を、ホットボンドで輪に貼り付けていきます。バランスを見ながら、色や形の異なる素材を組み合わせるのがコツです。大きな葉から貼り始め、徐々に小さな葉や木の実で隙間を埋めていきましょう。乾いた葉がパリパリになら、ヘアスプレーを軽く吹きかけると長持ちします。最後にリボンを付ければ完成です。玄関に飾れば、訪れる人を温かく迎えてくれることでしょう。家族で作れば、素敵な秋の思い出にもなりますよ。

お金の豆知識

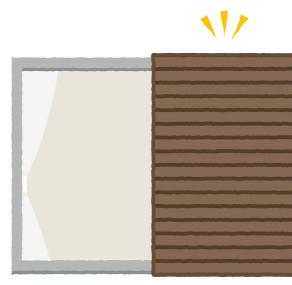
iDeCoの拠出上限額が変更

2024年12月から、企業年金加入の会社員および公務員のiDeCo拠出限度額が変更になります。現在、企業型DC・DB等の他制度に加入している場合の上限は月額1.2万円ですが、制度改正により最大2万円に引き上げられます。ただし、企業型DCの事業主掛金と他制度掛金相当額と合算して5.5万円を超えることはできません。



おしゃれ！Dr.住まいの 雨戸のお手入れ

秋こそ雨戸のメンテナンスのチャンスです。夏場は開け放したままになっていた雨戸も、これからの季節は大活躍。メンテナンスの基本として、水で汚れを洗い流し、乾いた布でしっかりと拭き取りましょう。レールに砂やホコリが溜まっていると雨戸の滑りが悪くなるので、掃除機で吸い取った上で、潤滑剤を吹き付けておきましょう。



暮らしの1ポイント！

酉の市



酉の市は11月の酉の日に日本各地の鷲神社で開かれる「酉の市」は、江戸時代、農民が収穫祝いに鶏を奉納したのが起源とされ、現在は縁起熊手が名物の、開運招福・商売繁盛を願う風物詩となりました。正月前の縁起行事として定着し、大酉祭やお酉様とも呼ばれる行事として、人々に親しまれています。